

術前化学療法に関する TILs超音波画像診断研究部会

「術前化学療法における TILs-US score」の意義 座長のことば

座長:島 宏彰(札幌医科大学医学部 消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座)

恵美 純子(広島市立北部医療センター安佐市民病院 乳腺外科)

これまでに乳癌に対する術前化学療法の効果予測因子と

して、腫瘍浸潤リンパ球(TILs)を豊富に有する乳癌(Lymphocyte predominant breast cancer: LPBC)が有用であることが示唆されてきた。

しかし、乳癌の不均質性により針生検標本と摘出標本では LPBC の判定の不一致性が示されている。

術前化学療法(NAC)症例における LPBC 予測は針生検だけでは不確実である可能性があり、本研究部会では多施設共同研究として TILs-US score による LPBC 予測と pCR 予測に関して解析し、術前化学療法における TILs-US score の意義について検討するものである。

本企画では前研究部会である「TILs の超音波画像に関する研究部会」から検証してきたLPBCにおける超音波画像所見の特徴と病理像との対比から得られた新知見や、

NAC における研究として集積した症例から「メインデータの解析結果」と

「TILs-US score で LPBC と予想された乳癌症例のサブタイプ別 US 画像と治療効果」

「針生検における TILs評価」「TILs 乳癌における超音波読影のコツ」などについて提示する。